

## 特別会計決算

【特別会計】特定の目的のための会計で、保険料など特定の収入があり、一般会計から切り離して、その収入・支出を経理する会計です。本市には、8の特別会計があります。

### 国民健康保険特別会計

国民健康保険を運営する会計

歳入	加入世帯数	4,040世帯
35億3,938万円	加入被保険者数	5,988人
歳出	(平成30年度末時点)	
34億5,925万円		

### 介護保険特別会計

介護保険を運営する会計

歳入	介護や見守り支援が必要と認められた要介護認定(要支援認定)者数	2,731人
46億884万円	(平成30年度末時点 ※2号被保険者を含む)	
歳出		
45億555万円		

### 特定環境保全公共下水道事業特別会計

八千代・甲田・向原処理区を対象に事業を実施

歳入	向原浄化センターの耐震・長寿命化工事を実施
6億4,466万円	
歳出	
6億4,041万円	

### 浄化槽整備事業特別会計

集合型下水処理区域外における各家庭への浄化槽設置管理事業

歳入	市内水洗化率の向上のため、平成30年度は89基新設
3億3,193万円	(管理総数 3,171基)
歳出	
3億3,175万円	

### 後期高齢者医療特別会計

主に75歳以上の方が加入する後期高齢者医療保険を運営する会計

歳入	加入被保険者数	6,417人
4億8,317万円	(平成30年度末時点)	
歳出		
4億7,221万円		

### 公共下水道事業特別会計

吉田都市計画区域の用途地域内で事業を実施

歳入	生活環境の向上と公共用水域の水質保全のため、施設の適正管理を実施
2億8,005万円	
歳出	
2億7,993万円	

### 農業集落排水事業特別会計

市内12地区に整備している農業集落排水施設の管理事業

歳入	12施設の維持管理業務、1施設の機能強化工事を実施
5億518万円	
歳出	
5億499万円	

### コミュニティ・プラント整備事業特別会計

甲田町の吉田口地区が対象の施設管理事業

歳入	生活環境の向上のため、施設の適正管理を実施
1,071万円	
歳出	
1,064万円	

※万円未満の数値は切り捨てています。

## 企業会計決算

地方公営企業法の全部または一部の適用を受ける公営企業の会計です。損益計算書と貸借対照表などで構成されます。  
※平成29年度から旧簡易水道事業特別会計、旧飲料水供給事業特別会計を統合し、市全域で地方公営企業法に基づく水道事業を運営しています。

### 【水道事業】

安全で安心な水を安定的に供給するため、適正な施設管理を行うとともに、配水管更新工事等の水道施設整備を実施し、効率的な経営に努めました。

損益計算書	
収益	9億6,214万円
費用	9億4,176万円
特別利益	338万円
特別損失	0万円
当年度純利益	2,377万円

※万円未満の数値は切り捨てています。

貸借対照表	
固定資産合計	104億8,784万円
流動資産合計	5億6,469万円
資産合計	110億5,253万円
負債合計	82億8,569万円
資本合計	27億6,684万円
負債資本合計	110億5,253万円

## 平成30年度の主な事業(抜粋)

市民自らが全国に誇れる「住み続けたいまち安芸高田市」の実現のため、平成30年度に新たに取り組んだ事業などの一部を紹介します。



### 市の未来を創る投資(人が集い育つまちづくりへの挑戦)

- ・お試しオフィス整備事業
- ・空き家対策事業
- ・住民票等のコンビニ交付サービス事業
- ・小学校空調機器整備事業
- ・教育のICT化推進事業
- ・学校規模適正化推進事業
- ・学力向上推進事業  
(英語教育強化、地域未来塾など)
- ・24時間保育の充実事業  
(認定こども園整備、放課後児童クラブ等)
- ・在宅育児世帯支援事業
- ・保育料の軽減
- ・乳幼児等医療費助成事業

### 《24時間保育の充実事業》 15億1,855万円

【病児・病後児施設を併設した幼保連携型認定こども園】  
「安芸高田市保育所適正化推進計画」に基づき、甲田町3保育所を統合した民設民営の「甲田いづみこども園」を平成31年4月1日に開所しました。  
【放課後児童クラブ】  
平成31年2月に甲田児童クラブ(複合施設)が完成しました。平成31年4月に統合した可愛小学校と郷野小学校の児童クラブの施設を整備しました。  
【ファミリーサポートセンター事業】  
提供会員51人、依頼会員51人、援助活動件数184件

誰もが安心して子育てができるようにするため、地域社会全体で子育て世帯を支える「24時間保育体制」の充実、喫緊の課題です。子育て世帯を経済的、精神的に支援するための環境を整え、安芸高田市は子育てがしやすい町であるとの認識を広め、定住の促進及び出生率の向上を図っていきます。



### 市民に安全・安心を与える投資(安心して暮らせるまちづくりへの挑戦)

- ・八千代支所移転事業
- ・公共施設改修事業
- ・公共施設配置適正化事業
- ・生活支援員制度構築事業
- ・冬季等お太助ハウス事業
- ・資源リサイクル推進事業
- ・災害復旧事業

### 《災害復旧事業》 9億5,499万円

平成30年7月の豪雨災害の復旧復興に全力で取り組みました。  
記録的な豪雨により、本市ではこれまでに経験したことのない規模の被害がありました。豪雨により被災した道路や河川などの災害復旧工事122件のうち、国庫負担金対象公共土木施設災害復旧工事118件、公共土木施設等一般単独災害復旧工事4件の災害査定を受け、108件の工事を発注しました。さらに、単独市費災害復旧工事120件の工事を実施しました。農林土木災害については、被災箇所101箇所の復旧に向けて測量・設計等を進めました。  
災害の復旧を一日でも早く行い、市民が安心して暮らせる安全なまちにすることを最優先に、引き続き取り組んでいきます。



### 市民に元気と活力を与える投資(地域資源を活かしたまちづくりへの挑戦)

- ・道の駅整備事業
- ・田んぼアートプロジェクト
- ・ふるさと応援寄附推進事業
- ・大規模農業団地整備事業
- ・森の学校プロジェクト
- ・有害鳥獣捕獲事業
- ・担い手育成、生産条件整備事業
- ・企業立地推進事業

### 《田んぼアートプロジェクト》 301万円

令和2年春開業予定の「道の駅」と連携した、新たな観光拠点施設となる「田んぼアート公園」整備に向け試験作付等を行いました。  
美土里町青地区において、青森県田舎館村等から取り寄せた種籾を使用して観賞米試験栽培を実施しました。5月中旬から10月上旬までの期間において、観賞米の生育状況の検証やデータ収集を行うことができました。  
「田んぼアート公園」は、令和2年春開業予定の「道の駅」整備地周辺に新たな観光のランドマークとして、道の駅との相乗効果並びに市内観光施設との周遊効果を生み出します。今後は、田植え・稲刈り体験イベントを通じ、農業と観光が連携することにより、市内観光入込客数と観光消費額の増加を図り、地域活性化に寄与していきます。

※万円未満の数値は切り捨てています。